

2011年3月24日

盛岡市災害対策本部長・盛岡市長 谷藤 裕明様

日本共産党盛岡市議会議員団

団 長 庄子 春治

幹事長 鈴木 礼子

高橋 和夫

神部 伸也

鈴木 努

東日本大震災の救援・復興対策についての申し入れ

東日本大震災から2週間が経過しました。盛岡市がこの震災にあたって、盛岡市民の被災者への支援、また岩手県内をはじめ沿岸地域からの被災者の受け入れをはじめのとした救援・復興支援の中核都市としての役割を担って、不眠不休で取り組まれていることに心から敬意を表します。

その役割を果たすという立場から、この間、私どもに寄せられた市民・被災者などの声を率直に紹介しつつ、今後の対策において取り組んでいただきますよう下記について申し入れいたします。

記

- 1、 盛岡市民の被災者への支援の窓口対応を充実してください。
 - (1) 今回の大震災では、盛岡市内の被害は比較的軽微ではあったものの、現地で津波被害にあった盛岡市民も相当数おられます。盛岡市民の被害状況を正確に把握し、必要な支援対策をとるようしてください。
 - (2) 市民の被災者支援の窓口を設け、機能強化してワンストップで相談に乗れる体制を整えて下さい。
 - (3) 「盛岡市災害弔慰金の支給等に関する条例」に基づく、弔慰金、見舞金の支給に向けた準備を早急に整えて下さい。
- 2、 沿岸地域・その他の避難者への支援対策を充実してください。
 - (1) 被災者の受け入れ態勢をさらに整えて、受け入れ枠を拡大してください。
 - (2) 仮設住宅の建設場所の提供をはじめ、盛岡市の持っている条件を生かして被災者への住宅の支援を強めて下さい。
 - (3) 沿岸地域から、知人を頼って避難してきた方が盛岡市に住宅についての相

談に行ったが、『市営住宅は市民のためのものだ』と言われた」「それは県が対応するもので、何も県から指示が来ていない」などと事実上門前払いされたという声が私どものところに、複数寄せられました。

避難場所へ避難してきている方だけでなく、知人や親せきを頼って避難してきている方も多数いると思われます。中には、古里に戻ることを諦めて盛岡市に住みたいと願っている方もおられます。このような被災者に対して、タライ回しや門前払いをされたという誤解を招いてはなりません。

その他、盛岡市で介護やその他のサービスを受けたいと願っている方もおられます。命からがら避難してきて罹災証明を取得することの困難もあります。

これらの避難者の相談に応えるために、ワンストップで被災者の生活相談を受けて対応する窓口を設置・機能強化して支援してください。

3、 市民の善意を生かして支援する体制をさらに強化してください。

市民の間には、この惨状を見るにつけ「何かお手伝いをしたい」という思いが広がっています。「市民協働」を掲げる盛岡市の真骨頂が試されます。この市民の善意が生かされるよう、その体制をさらに整えて下さい。

4、 ガソリン・灯油などの燃料確保は被災者支援の上でも、市民生活を安定させるうえでも引き続き重要課題となっており、市民の強い要望です。県・国に対してさらなる対策を要望してください。

5、 福島原発事故の影響は、盛岡市が遠く離れているとはいえ市民にとって不安の材料です。国に対して正確な情報提示を行うよう、県及び国に要望してください。

以 上